



朝晩が、すっかり寒くなりました。日暮れも早くなり、ストーブが恋しい季節ですが、みなさん体調管理は万全でしょうか。

さて、体育大会や小松高祭と行事が多かった2学期も残り1か月となりました。いよいよ定期考査が始まりますが、全力投球で試験に臨みましょう。

今月は、11月12日(金)に行った全校集会「図書委員会発表」を特集します。12月からは、図書室にはストーブが設置されます。暖かく静かな図書室にぜひ来てください。

☆「朝の読書週間」を実施しました。



11月15日〔月〕～11月19日〔金〕の5日間

★全校集会にて、「図書館の魅力伝える」をテーマに1・2年生図書委員がSDGsに関する本を紹介しました。



☆☆☆☆☆図書委員がSDGsに関して勉強した本の紹介☆☆☆☆☆



『世界かぐっと近くなるSDGs ぼくらをつなぐ本』
監修) 池上 彰 学研プラス

2030年に向けて、世界が合意した「持続可能な開発目標」が17あります。それらについて、詳しく解説された本です。

(本書より引用)

SDGsが書かれた計画書は、その冒頭で次のように力強く述べています。

「我々はこの共同の旅路に乗り出すにあたり、誰一人取り残さないことを誓う。」

この言葉は、「普通に」生活している人々に今一度、身の回りを見渡すことを求めるものです。

そして、日本のような豊かな国にもじつは多くの問題があることを突き付けてくるのです。

全校集会では、「持続可能な開発目標」17のうち以下の5項目に関する本を紹介しました。

- ① 貧困をなくそう
- ③ すべての人に健康と福祉を
- ④ 質の高い教育をみんなに
- ⑤ ジェンダー平等を実現しよう
- ⑬ 気候変動に具体的な対策を

☆☆☆☆☆図書委員が選んだSDGsに関する本の紹介☆☆☆☆☆



○2年3組 図書委員より
『ヘルプマン』 著者) くさかり樹 講談社
(オススメポイント)

今の日本の少子高齢化問題に焦点を当てた漫画です。もし自分が介護する側または、介護される側になったらと、考えさせられる本です。

~~~~~

○2年4組 図書委員より

『認知症がやってきた! ママリンとおひとりさまの私の12年』

著者) 酒井 章子 SHC 産業編集センター

(オススメポイント)

認知症介護が大変なことや、介護をする中で、患者から気付かされた大切なことが書かれています。将来介護関係の仕事に就きたい人におすすめです。



「すべての人に健康と福祉を」に関する本

○3年3組 図書委員より

『戦場の秘密図書館—シリアに残された希望』

著者) マイク・トムソン 編訳) 小国 綾子

(オススメポイント)

戦場となった町の地下に作られた秘密図書館を、若者たちはどのように、どうして守ったのか。作者の視点から語られた本です。“読書”とはどういうことなのか、また“生きる”とはどういうことなのか。是非一度この本を読んでみてください。



「質の高い教育をみんなに」に関する本



○1年4組図書委員より

『環境問題は止められない!』著者) 山岡寛人 ポプラ社

(内容)

環境問題を止めることは不可能なのか?という大きなテーマのもと、国などの各団体や、新しい生き方を求める運動など、環境問題について深く考える内容です。

(オススメポイント)

私たち学生にとっても身近な生活用水や、紙のリサイクルなどについて書かれています。自分たちにもできる簡単なこともあり、環境破壊を遅らせることが可能になるのか、とても役立つ本です。今よりももっと、環境問題について考えることができますと思います。

「気候変動に具体的な対策を」に関する本

○来月も引き続き、図書委員が選んだSDGsに関する本を紹介する予定です。全校の皆さんもぜひ、SDGsに関する本を図書館で探して、読んでみませんか。